

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月30日

札幌市長

秋元 克広 様

提出者

住 所 札幌市北区北7条西6丁目2番地34

氏 名 札幌工業株式会社

代表取締役 坂 本 孝 司

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 011-737-2210

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

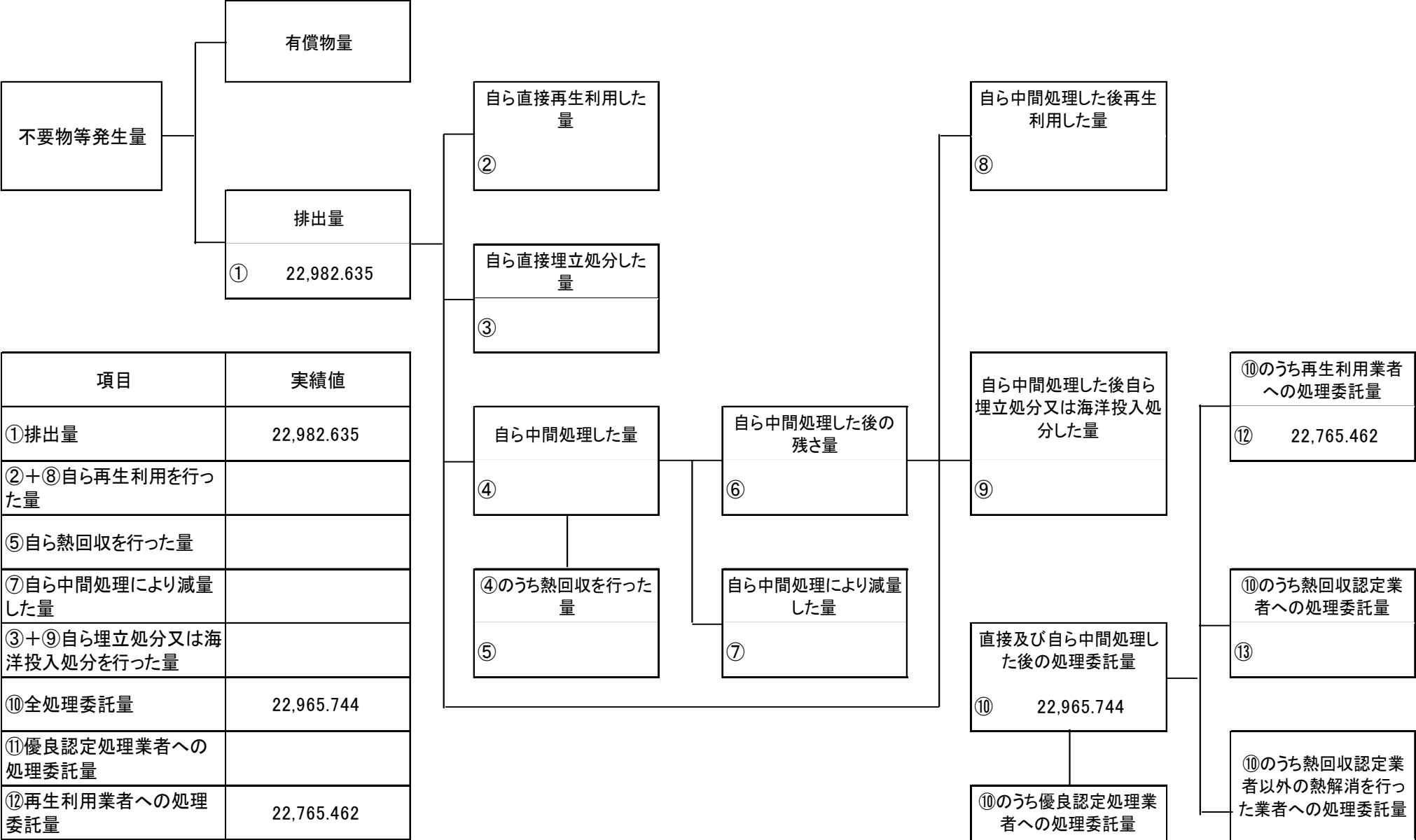
事業場の名称	札幌工業株式会社
事業場の所在地	札幌市北区北7条西6丁目2番地34
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値 4516.501
排出量	4,516.501 t	全処理委託量	4,650.699 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	4,418.164 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	
--------	--

計画の実施状況（産業廃棄物の種類：全種類）



札幌市

産業廃棄物処理計画前年度の実績(令和6年度分)

種類 項目	がれき類計 22,358.480 t			(単位 t)																
	コンクリート がら	アスコン がら	その他 がれき類	ガラスくず・ 陶磁器くず (安定型)	廃プラス チック類 (安定型)	金属くず	混合(安 定型の み)	石綿含有 産業廃棄 物	建設汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏 ボード	混合(管 理型含 む)	石綿含有 産業廃棄 物	水銀灯含 製品廃棄 物	鉱さい	油泥	廃油	廃石綿等
①産業廃棄物発生量	21,724.283	507.050	127.147	25.448	50.014	5.580	0.030	0.000	30.140	1.142	303.710	28.230	24.358	67.765	46.230	0.171	19.290	0.220	21.807	0.020
②自己直接再生利用 量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
③自己直接埋立処分 又は海洋投入量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
④自己中間処理量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑤自己中間処理残さ量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑥自己中間処理後再 生利用量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑦自己中間処理後自己埋 立処分又は海洋投入量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
⑧直接委託及び自己処 理後委託処分量	21,713.383	502.090	127.027	25.448	49.553	5.350	0.030	0.000	30.140	1.142	303.710	28.230	24.358	67.765	46.230	0.171	19.290	0.000	21.807	0.020
⑨委託処分量の内再生利 用業者への処理委託量	21,724.283	507.050	123.940	0.000	5.459	5.350	0.030	0.000	25.390	0.942	303.710	28.230	20.798	0.720	0.000	0.170	19.290	0.000	0.100	0.000

令和6年度実施数量合計 22,982.635 t
令和6年度再生利用合計 22,765.462 t

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。